

年内に収穫できる新しい中晩生カンキツ「はれひめ」、「津之望」

現在、主に淡路地域で導入が進んでいる良食味な中晩生カンキツは「不知火」だが、近年は生産量の増加や減酸の遅れによる品質の不安定さにより、価格が低迷している。そこで、収穫期が早い中晩生カンキツ「はれひめ」、「津之望」の品質特性について調査し、両品種とも淡路地域でも年内収穫が可能で食味も良いことを明らかにした。

内 容

当センターに植栽されている「はれひめ」(写真1)、「津之望」(写真2)、「不知火」について、果実を成熟期に収穫し、下表に示した項目を調査した。

収穫期は、「はれひめ」、「津之望」とともに12月中下旬で、年内収穫が十分可能であった。果実の大きさは両品種ともに230g程度で「不知火」より小さかった。果形は両品種ともに扁球で、果皮は収穫期にはほぼ完全に着色していた。また「はれひめ」の果皮はやや厚いが、軟らかく剥きやすかった。果汁糖度は、「はれひめ」はやや低いが、「津之望」は高かった。果汁酸含量については、両品種とも酸抜けが良く低かった。「はれひめ」は糖度がやや低いが、じょうのう膜が薄く、さわやかな食味で食べやすかった。「津之望」は酸抜けが良く、また糖度が高かつ

たため、食味は濃厚であった。

これらの品種については、直売での年内販売による有利販売用が可能で、改植や高接ぎ更新による導入が見込まれる。

普及上の注意事項

「はれひめ」は生理落果が多いので、花に光が当たるように枝梢管理を行い、着果を安定させるとともに、糖度を上げるために、樹体に水分ストレスをかけ、品質向上を図ることが必要である。また、「津之望」は着果過多による樹勢低下が発生することがあるので、適切な着果管理を行う必要がある。

宗田 健二(淡路農技 農業部)
(問い合わせ先 電話：0799-42-4880)

表 果実品質調査(淡路農技、2010年度)

品 種	樹 齢	収穫日 (月/日)	果実 重	果形			着色 度	果肉 歩合	糖度 (Brix)	酸含量 g/100ml	糖酸 比
				横径 mm	縦径 mm	指数					
はれひめ	9	12/21	236.3	85.0	73.3	116	9.8	64.5	10.1	0.72	14.0
津之望	7	12/21	229.8	82.5	66.6	124	10.0	72.7	12.5	0.70	17.9
不知火	8	2/9	280.1	85.4	85.3	100	9.8	71.1	13.2	1.44	9.2

注) 着色度は無着色を0、完全着色を10として11段階で評価した。

果形指数は(横径/縦径)×100で算出。

「はれひめ」、「不知火」：カラタチ台。「津之望」：甘夏台、高接ぎ7年目。



写真1 「はれひめ」



写真2 「津之望」